

日本学術会議・地球惑星科学委員会・地球惑星科学国際連携分科会
SCOSTEP-STPP 小委員会(第 26 期・第 3 回)議事要旨

開催日時:令和 6 年 11 月 19 日(火) 9:00~9:45

開催場所:オンライン会議(ZOOM)

出席者: 浅村和史、石井守、上野悟、海老原祐輔、大塚雄一、加藤千尋、加藤雄人、河谷芳雄、草野完也、
坂尾太郎、板崎貴俊、塩川和夫、高橋幸弘、田中良昌、中溝葵、中村卓司、能勢正仁、増田智、松
岡彩子、三宅美紗、三好由純、吉川顕正、余田成男

欠席者: 佐藤薫、関華奈子、花岡庸一郎、村山泰啓、山本衛、横山竜宏、渡辺真吾

オブザーバー:阿部修司、家森俊彦、今城峻、門倉昭、津田敏隆、廣岡俊彦、藤本晶子、宗像一起

配布資料

資料1:第 26 期 SCOSTEP-STPP 小委員会名簿

資料2:SCOSTEP-STPP 小委員会(第 26 期・第 2 回)議事録

議事

(1) SCOSTEPの次期 5 ヶ年プログラム策定に関する情報交換

塩川委員長から、次期5ヶ年プログラム案についての説明があった。その後、SCOSTEPのプログラムにより国として予算的措置を受けている国について質問があり、ドイツ、インド、米国などの例はあるが、近年では個々の機関・個人が本プログラムを根拠にして予算要求することが多いという回答があった。

(2) SCOSTEP及びPRESTOプログラム(2020-2024)の活動に関する情報交換

塩川委員長から、SCOSTEPとPRESTOの活動状況について説明があった。説明内容は、各pillarの活動、Newsletterの発行、online seminarの開催、financial support (campaign、meetings、joint research、database)の実施、SVSプログラムによる学生支援、capacity building lectureの開催、science comic bookの発行、各種awardやfellowの情報などであった。また、令和5年5月にバリで初めて開催されたISCの総会において、ISCのAffiliated BodyとしてSCOSTEPの活動報告及び議論を行ったとの報告があった。次回のISC総会は令和7年1月にオマーンで開催され、SCOSTEPも参加予定である。

引き続き、塩川委員長から11月に学術会議に提出したSCOSTEPに関する活動調査報告書の内容について説明があった。また、学術会議のホームページ用のSCOSTEPの活動報告動画の更新についての説明があった。

(3) その他STPP関係の活動に関する情報交換

石井委員から、WMO-ISES-COSPAR Coordination Team(WICCT)の活動について報告があった。活動内容として、3つのテーマ(Space-based observation、Ground-based observation、User engagement)及びそれらに関する pilot projectが紹介され、その後、質疑応答が行われた。

三好副委員長から、COSPAR総会でのSTP関連トピック(データの標準化、マシンラーニング)についての議論内容が説明された。

(4) 次回会合の予定

塩川委員長から、例年通り、次回会合を令和7年5月頃に開催したいとの提案があり、承認された。

(5) その他

吉川委員から、International Space Weather Initiative (ISWI)の日本からのnational coordinatorの推薦についての協力依頼があった。今後、関係者間で協議の上、若手研究者を推薦していくこととした。

以上